

---

# マレーシア・ボルネオ島 における自然体験実習報告

---

知識工学部リテラシー化学  
倉田 薫子

# 実習地：マレーシア・サバ州

東南アジア最高峰キナバル山



---

## 2007年（初回）

- 武蔵工業大学4名（学生3、教員1）  
阪南大学11名（学生9、教員2）の共同実施  
（実際の本実習は第五回目で、本学は初参加）
  - 2007年8月30日～9月7日の9日間で実施
-

---

# 目的

- ボルネオ島の多様な自然と触れ合いながら、地元の村にホームステイし、自然や文化の様々な体験を通して自ら課題を見出し実践していく
  - 他大学の学生との交流を通して、様々な分野の見方考え方を学び、見識を広げる
-

---

# 実習プログラム

- 現場体験実習
- 自然観察
- 土木・建築実習
- WWFとの協働植林作業
- 異文化交流

本実習では、事前学習によって各自テーマを決め、現地滞在中にそれぞれが研究を行うという形式で報告をまとめた。

---

# ( 1 ) 現場体験実習



食事は手で食べる



「お風呂」

## ( 2 ) 自然観察



キナバル国立公園にて ( *Nepenthes rajah* )



セピロックオランウータンリハビリテーションセンター

---



だんごむし

---

---

## ( 3 ) 土木・建築実習





---

## ( 4 ) WWFとの協働植林作業







## ( 5 ) 異文化交流

折り紙



ソーラークッキング実践



民族衣装を着て伝統のダンス



---

# Bukit Bilitからの眺め

左手側に広がるプランテーション  
ヤシ油をとるために熱帯林が破壊された



右手側に広がる村と熱帯林



---

それぞれが得たものをまとめたものが  
3人のレポートです。

